

9月25日(土)

午後1時30分～5時00分(1時10分開場)

場所:文京区民センター3階・3A会議室

東京都文京区本郷 4-15-14 / TEL03-3814-6731

都営三田線・大江戸線「春日駅 A2 出口」徒歩 2 分、東京メトロ丸ノ内線「後楽園駅 4b 出口」徒歩 5 分、東京メトロ南北線「後楽園駅 6 番出口」徒歩 5 分、JR 水道橋駅東口徒歩 15 分、都バス(都 02・都 02 乙・上 69・上 60)春日駅徒歩 2 分

資料代500円



ドイツと日本の 空襲の記憶

講師: 柳原伸洋さん

東京女子大学准教授(ドイツ現代史・空襲研究)

「日本やドイツでも空襲体験の証言収集活動は、悲劇を二度と繰り返さないという共有された意志を原動力とし、この悲惨さを語り伝えることを運動の中心課題としてきた。無差別爆撃による破壊と非戦闘員の大量死の「悲惨さ」は、ドレスデン、重慶、そして東京を結ぶ共通項である。また、「悲惨さ」によって、それぞれ空襲被爆都市の連帯や協同も可能となろう」(『季刊戦争責任研究』第 59 号(2008 年春季号)49 頁から)

著書・論文:

- ・「モノから想起される二つのノスタルジー —ドイツのオスタルギーから日本の空襲マンガまで」
コンテンツ文化史研究 (12) 86 - 100 2021 年 5 月
- ・「第一次世界大戦の空襲が生んだドイツの『銃後 (Heimatfront)』」
軍事史学 55(220) 67 - 86 2020 年 3 月
- ・「戦後ドイツの歴史論争に空襲論争を位置づける —『被害者の国家』の形成—」
独語独文学研究年報 (44) 251 - 266 2018 年 5 月
- ・「ポスト「戦後 70 年」と戦争社会学の新展開」
戦争社会学研究 第 1 巻, 戦争社会学研究会 勉誠出版 2017 年 4 月

<ZOOMでの学習講座参加方法>

① ZOOM で参加される方は、下記 URL のサイト右側にある「チケットを申し込む」からご購入ください。販売期間は 2021 年 9 月 6 日 12 時から 9 月 25 日 13 時までです。

<https://20210925npocq.peatix.com/>

上記のチケット購入時に、「名前」と「メールアドレス」のご登録をお願い致します。

②ご購入後、ZOOM の URL 等のお知らせをご登録のメールアドレスにお送り致します。講演会レジュメは学習講座前日(9月24日)までに送信致します。

主催 NPO法人 都市無差別爆撃の原型・重慶大爆撃を語り継ぐ会

2021.9.3

代表 伊香俊哉(都留文科大学教授)、前田哲男(軍事ジャーナリスト)、額瀨厚(山口大学名誉教授)
栗遠至(重慶爆撃犠牲者遺族)、馬蘭(成都爆撃犠牲者遺族)、雷時仁(乐山爆撃犠牲者遺族)

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-21-5 一瀬法律事務所 TEL03-3501-5558, FAX03-3501-5565

E-mail: info@ichinoselaw.com Web サイト http://www.anti-bombing.net ブログ http://blog.goo.ne.jp/dublin-ki

▼郵便振替口座 口座番号: 00190-5-728232 口座名: NPO 法人重慶大爆撃を語り継ぐ会

後援「村山首相談話を継承し発展させる会」(理事長・藤田高景)電話: 090-8808-5000